

より高いユーザーエクスペリエンスを提供する
世界最高水準のセキュリティ/プライバシー対応した
人ベースのIDソリューション
Authenticated Traffic Solution (ATS/認証トラフィックソリューション)

2021年11月2日

総務省

「プラットフォームサービスに係る利用者情報の取り扱いに関する
ワーキンググループ」資料

LiveRamp Japan株式会社

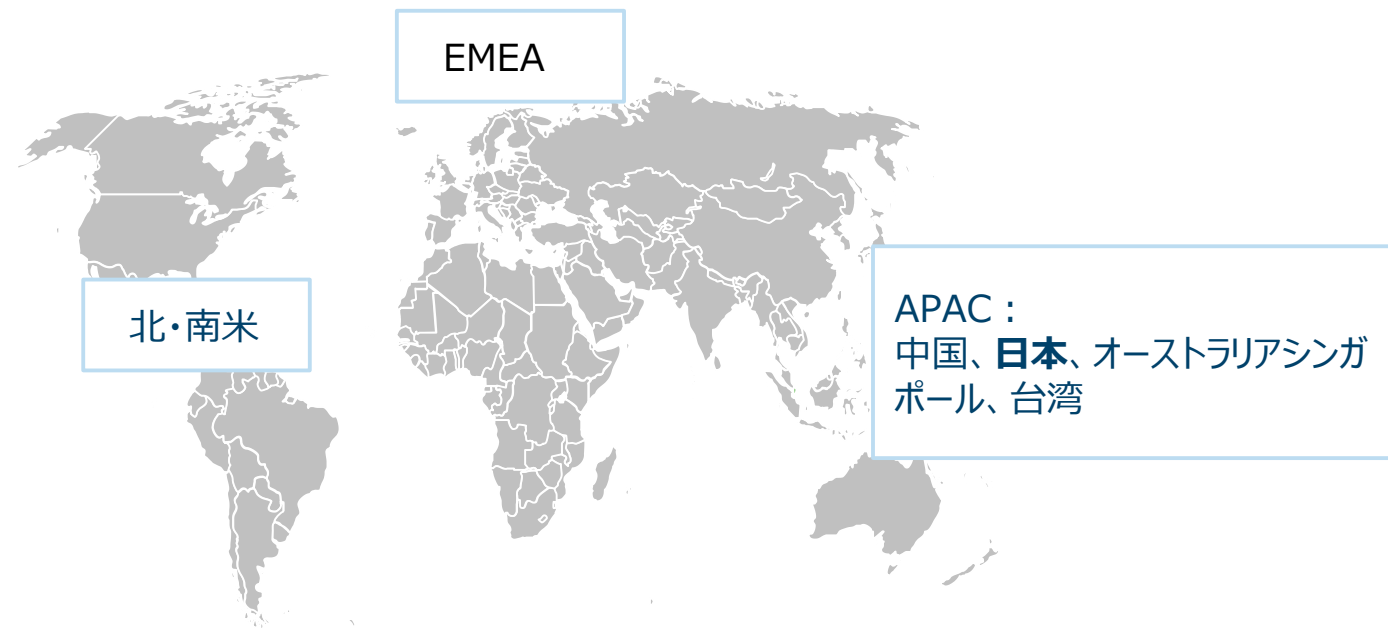
LiveRampの紹介

「ピープル・ベースド・マーケティング」を実現する世界最高品質のプラットフォームを提供し、シームレスな顧客体験と高いROIを実現



- 本社：アメリカ、サンフランシスコ
- 創業：2011年
- NY証券取引所上場：NYSE (RAMP)
- 従業員数：1200+名
- 代表：Scott E. Howe
- 拠点：アメリカ、イギリス、フランス、日本、中国、オーストラリア、シンガポール
- 日本法人
LiveRamp Japan株式会社
東京都千代田区永田町2-12-8

- 確定データを基にしたデータ接続/オンライン連携のソリューションを提供
- データを安全かつ効果的に活用するためのデータ接続プラットフォームで、比類のないネットワークを提供
- 企業とそのパートナーがデータをより適切に接続、管理、有効化して、カスタマーエクスペリエンスを変革し、より価値のあるビジネス成果を生み出すことを可能に
- GDPR、CCPAなど、世界最高水準のセキュリティ/プライバシー対応



データ接続プラットフォーム

LiveRampは、データを安全かつ効果的に活用するための**データ接続プラットフォーム**です。

エコシステムの中で**中立性**を保ち、**消費者のプライバシーを守り**ながら、データをより適切に**接続、管理、有効化**して、**カスタマーエクスペリエンスを変革**し、より価値のある**ビジネス成果**を生み出すことを可能にします。



様々なパートナーと連携をし、**エコシステム全体でデータをシームレスに接続**

変わるエコシステム

皆さんから耳にする、取り組むべきだと考えているポイント

ファースト
パーティ
データの
取得活用

ポストCookie/
モバイル広告ID
ソリューション

在庫価値の最適化

新しいデータ戦略

データプライバシー規制は新しい標準になっています



2020年1月（施行）

カリフォルニア州

消費者プライバシー法 /
California Consumer Privacy Act (CCPA)



2020年3月（可決）

日本

改正個人情報保護法 /
Act on the Protection of Personal
Information
が国会で可決、2022年4月1日施行予定



2020年8月（施行）

ブラジル

一般個人データ保護法 /
Lei Geral de Proteção de Dados LGPD



2018年3月（施行）

EU

一般データ保護規則 /
General Data Protection
Regulation (GDPR)



2020年1月（可決）

韓国

個人データ保護規則
(Data Privacy Amendments)
※ GDPRに沿った内容



2020年5月（一部施行）

タイ

個人情報保護法 /
Personal Data Protection Act (PDPA)
一部施行、完全履行を年後に目指す

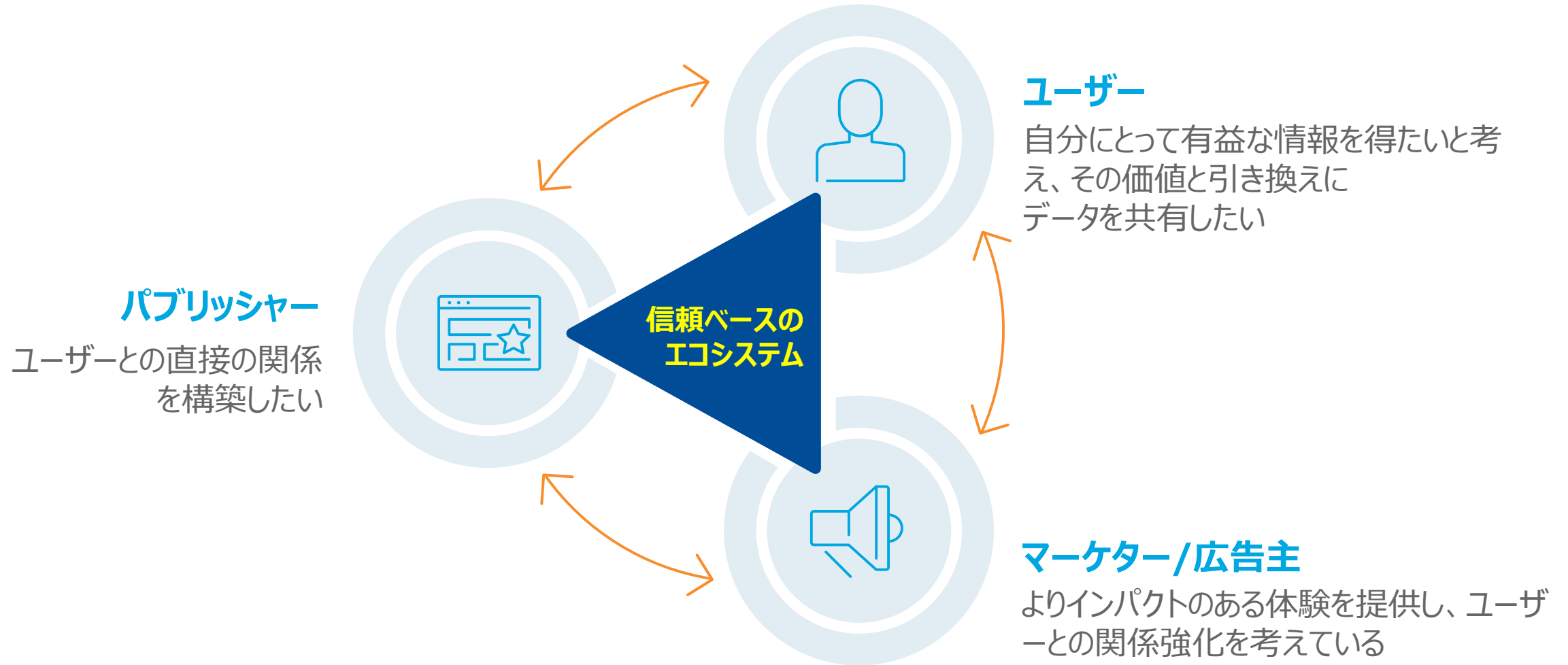


2021年末施行予定

インド

2018年個人情報保護法案
Personal Data Protection
Bill 2018
を策定

必要とされる、信頼に基づいた「新しいエコシステム」



「RampID」ベースのインフラストラクチャー

「RampID」ソリューション

オン・オフラインから収集したファーストパーティデータをオムニチャンネルで活用できるものにする



ファーストパーティデータ
(CRM (PII) データ：オフ/オンライン)



PIIを非可逆にハッシュ化し
LiveRampに送信
LiveRampの
独自アルゴリズムで
安全に**固有のID**に変換



「RampID」の特徴



ファーストパーティデータ
(CRM (PII) データ：オフ/オンライン)



PIIを非可逆にハッシュ化し
LiveRampに送信
LiveRampの
独自アルゴリズムで
安全に**固有のID**に変換

- メールアドレスから作成される単なる**非可逆なハッシュ値**ではありません。
- 同じメールアドレスを使用しているユーザーであっても、**パブリッシャー、広告主毎に固有のRampID**を生成します。**共通ID**ではありません。
- 万が一第三者がパブリッシャー、広告主のRampIDを搾取できても、同一ユーザーと識別することができません。
- LiveRampは**データを保有していません**。LiveRampはIDを生成し、マッチングの処理をするいわゆる「プロセッサー」になります。また**マッピングテーブルなども保有していません**。この設計自体が、プライバシーバイデザインで開発された技術であり、データ自体を保有していないため、データ保管に関する規定も存在しません。

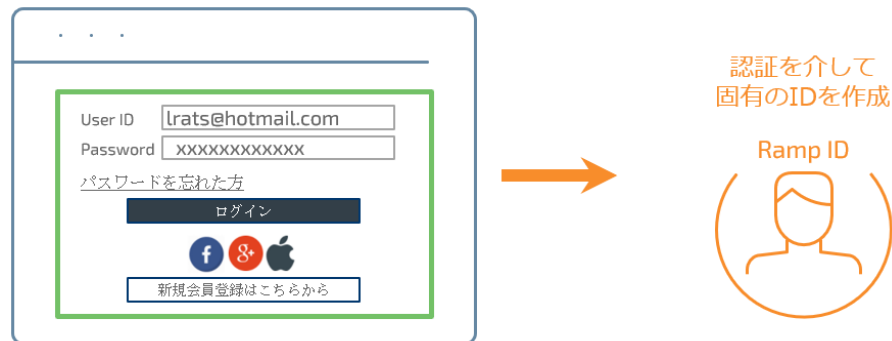
広告在庫を認識可能にする

Authenticated Traffic Solution (ATS/ 認証トラフィックソリューション)

ログイン認証時に、ユーザーIDとして最も使われているメールアドレスから、**安全な形で固有**の人ベースのID「**RampID**」を生成します。

パブリッシャーはATSを利用する際に、**会員登録時の規約**、**プライバシーポリシーページ**などのメールアドレスを含む個人情報を(1)**取得**、(2)その**目的**、匿名加工（ハッシュ化）した形で第三者に(3)第三者の運営する**外部サービスとの連携する可能性**がある旨を明記する必要があります。また、ユーザーが個人を特定できる識別子の使用の有無を**選択**すること（**オプトアウト**）が出来るようにする必要があります。

LiveRampはATSを導入するパブリッシャーのプライバシーポリシーページを事前に専任チームにより審査させていただきます。現行の個人情報保護法下では上記チェックポイントの対応をすることで、既存ユーザーへの対応とみなされると判断しますが、2022年4月以降の改正個人情報保護法下では、既存ユーザーへも再度同意取得を求める必要の可能性があると考えられます。



プライバシーポリシーページ上でのLiveRampおよびATSの説明記載例

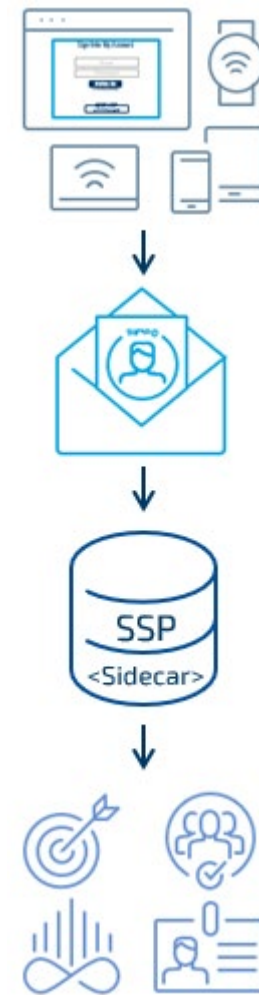
LiveRampのAuthenticated Traffic Solutions (ATS) は、プライバシーを重視した透明性の高いソリューションをピープルベースの広告に提供します。

ATSは、パブリッシャーのアドレス可能性を強化すると同時に、個人の可視性と制御を提供します。ATSを使用すると、パブリッシャーは同意されたユーザーデータをRamp IDとリアルタイムで照合し、インターネット上の認証されたCookieのない在庫に基づいて、人ベースの広告を行うことができます。

LiveRampの詳細については、こちら（<https://liveramp.com>）をクリックしてください。
オプトアウトする場合は、こちらをクリックしてください（https://liveramp.com/opt_out/）。

Authenticated Traffic Solution (ATS) の仕組み

- 1 パブリッシャーは、**ATS タグ**を実装、または**ATS API**をビルドします。
ATSは所有および運営している**すべてのプロパティ (Web/アプリ/CTV)** をサポートします。
- 2 ユーザーの**ログイン**をきっかけに、User IDとして最も汎用的に使用されているメールアドレスを**非可逆にハッシュ化**し、LiveRampに送信。
LiveRampは受け取ったハッシュ値から**独自のアルゴリズム**で、**パブリッシャー (ドメイン) 毎の固有のRampID**を生成します。送られてきたハッシュ値は、RampIDが生成された時点で削除されます。
※ログイン認証をきっかけにRampIDを作成するので、**ログインしていないユーザーにはRampIDは生成されません**。
- 3 作成されたRampIDは、ATSに対応しているSSPが読み、解読することのできる暗号化されたRampID (**RampIDエンベロープ (*1)**) をファーストパーティCookieまたはローカルストレージに送られます。
※パブリッシャーはATSで生成されたRampIDおよびRampIDエンベロープを取得することはできません。
- 4 ファーストパーティCookieに保管されたRampIDエンベロープは、**Prebidを介して**、対応可能なSSPに渡されます。
- 5 RampIDエンベロープを解読し、**各DSP毎に読み取り可能な固有なRampIDに変換**することを可能にする「**Sidecar (*2)**」というLiveRampが開発提供するソフトウェアを実装したSSPがRampIDを**ビッドストリーム**に含めてDSPに送ります。



固有のRampID生成とRampIDによるマッチングについて



lrats@hotmail.com

↓
非可逆ハッシュ化

da177b0cf72ad6393e61bd1a8e2b7986b28e9
8b84a098716c36d0c4c8764d0dc(ハッシュ値)

↓
LiveRamp独自のアルゴリズム

9HJP0FD56JHFA (Key Value)

↓
HS02LY43UTTS6W
(Publisher-D用RampID)

(ユーザー並びにPublisher-Dは
当RampIDを把握不能)

↓
6V578BN890 (RampIDエンベロープ)

各DSP毎に読み取り可能な
固有のRampIDに変換



56XV9859LTV908
(DSP-B社用RampID)

(DSP-Bは当RampIDを把握可能、
ユーザーは把握不能)

↑
56XV9859LTV908
(DSP-Bが把握できるRampID)

↑
Sidecar (*2)がDSP-B用に
RampIDをエンコード

↑
6V578BN890 (RampIDエンベロープ)



KJ98LD063YTV4
(広告主A社用RampID)
(ユーザー並びに広告主Aは
当RampIDを把握不能)

↑
9HJP0FD56JHFA (Key Value)

↑
LiveRamp独自のアルゴリズム

da177b0cf72ad6393e61bd1a8e2b
7986b28e98b84a098716c36d0c4
c8764d0dc(ハッシュ値)

↑
非可逆ハッシュ化

↑
lrats@hotmail.com

↑
広告主
A社



ソリューションについてのお問合せはこちら

ソリューションについてのお問合せはこちら



japanteam@liveramp.com



Thank you!